

## 平成17年度の主な仕事をご紹介します

### 1 まちづくり・行政活動

#### これからの京丹後市のまちづくりを計画します

■総合計画の策定【総務費】(継続・完成) 670万円  
(担当:企画政策部 企画推進課)

市の総合的で長期的なまちづくりの基本方針を決めるため、平成16年度から審議会をつくり、基本構想の策定に取り組んできました。

今年度は、基本構想を具体化した基本計画も策定して『京丹後市総合計画』を完成します。主に、冊子と、計画の概要をまとめたダイジェスト版を作成します。

- 主な経費
  - 総合計画審議会の運営費用 236万円
  - 総合計画の作成費用 434万円

#### 市の魅力を全国に発信するための冊子を作成します

■市勢要覧の作成【総務費】(継続・完成) 493万円  
(担当:企画政策部 秘書広報課)

市の概要や魅力を分野ごとに、写真、統計資料などを使ってわかりやすく紹介する冊子(リーフレット版)を4,000部作成します。

平成16年度から作業にとりかかり、1年を通しての写真撮影、印刷製本などを専門の業者に委託し、平成17年11月末に完成する予定です。主に、京丹後市を紹介する資料として、活用することとしています。

また、市民局の窓口での販売と市のホームページへの掲載を予定していますので、市民のみなさんご利用ください。

16年度と17年度の経費の合計は704万円を予定しています。

### 2 防災

#### 台風23号の教訓を活かします

■冠水警報通報装置の設置【消防費】(新規) 504万円  
(担当:総務部 総務課)

久美浜町の平田地区と芦原地区に道路冠水警報通報装置を設置します。

河川の増水などによる道路状況を把握することにより、家屋などの浸水被害の軽減や、地域のみなさんの避難に活用することができます。

道路の冠水状況は、N T T回線を通して久美浜市民局などで把握でき、警戒水位に達すると警報をアナウンス(音声)で伝達する仕組みです。

市の負担額 504万円  
(そのうち市債(市の借金) 500万円) ※全額過疎債

#### 過疎債・辺地債

市の借金の種類の一つ。借金には、地方交付税で国が支援してくれるものがありますが、中でも特に有利な借金です。ただし、決められた地域の事業にしか使えません。

借金の返済金(元金・利子)のうち、過疎債は70%、辺地債は80%が支援され、実質的な負担は少なくなります。

#### 災害の発生に備えます

■総合防災訓練の実施【消防費】(新規) 489万円  
(担当:総務部 総務課)

大災害に備え、各防災機関が一体となって総合的に実践的な訓練を実施します。

また、市民のみなさんによる、避難訓練や防災活動を行って、防災意識を高めていただきます。

実施は、8月28日(日)午前7時30分前から予定しています。(詳しくは、後日お知らせします)



平成13年度に峰山町で実施した防災訓練

■地域防災計画の策定【消防費】(継続・完成) 985万円  
(担当:総務部 総務課)

災害時に備え、「京丹後市地域防災計画」を策定します。平成16年度から2か年の取り組みで、17年度に完成する予定です。(平成16年度予算:389万円)

平成16年度につくりました「地域防災計画案」をもとに協議と修正を行い、市の防災会議で決定します。

主に、地域防災計画と職員初動マニュアルを印刷するほか、市民のみなさんに配布します「防災マップ」を作成します。(8月下旬ごろに配布予定)

また、できあがった「地域防災計画」と「防災マップ」は、市のホームページで公開します。

#### 京丹後市地域防災計画

風水害や地震などの大きな災害の発生に備え、災害の予防や災害が発生した場合の応急対策、復旧対策を行うため、「京丹後市防災会議」が策定するものです。

■市役所非常用発電装置の設置【総務費】(新規) 1,155万円  
(担当:総務部 総務課)

災害に備え、市役所(峰山庁舎)に非常用発電装置を設置します。災害などで停電しても、I P電話やパソコンなどへ電力を安定して供給することができ、情報通信手段が確保されます。緊急時における市民のみなさんからのお問い合わせにも支障なく対応できます。

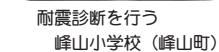
■学校施設の耐震診断【教育費】(新規) 700万円  
(担当:教育委員会 教育総務課)

市内には、小学校31校、中学校9校、幼稚園2園の計42校(園)の学校施設があります。

学校施設は、地震などの災害が起きた場合には、児童・生徒、地域のみなさんの避難場所としても重要な役割を担っています。

市内には、古い建築基準で建てられた学校が多いことから、順次耐震診断を行うこととしています。

平成17年度は、峰山小学校の調査を実施します。



耐震診断を行う 峰山小学校(峰山町)

#### 耐震診断とは

大きな地震が起きた場合に、建物が安全かどうかの調査を行います。市内の学校の約50%が、耐震診断が必要とされる昭和56年以前に建てられています。

■消防施設等の整備【消防費】(継続) 7,535万円  
(担当:総務部 総務課)

消防団の拠点施設や消防車庫の整備、また消防車を更新して、災害・防災体制を充実します。

●消防ポンプ自動車 3,381万円  
(平成16年度予算:4,337万円)

2台(大宮町三重、丹後町間人)の消防ポンプ自動車を更新します。

●消防車庫の新築など 3,350万円  
(平成16年度予算:2,695万円)

消防車庫(峰山町丹波)、消防格納庫(大宮町明田・五十河)、消防団拠点施設(丹後町竹野)の4つの施設を整備します。



平成16年度に新築した消防車庫(網野町)



平成16年度に購入した消防ポンプ車(峰山町)

国からの補助金 1,602万円  
市の負担額 5,933万円  
(うち市債(市の借金) 5,170万円)  
※過疎債 2,510万円、辺地債 2,340万円

■防火水槽の設置【消防費】(継続) 2,550万円  
(担当:総務部 総務課)

火災発生時に備え、計画的に防火水槽を設置します。平成17年度は、3基を設置します。(網野町島津、弥栄町溝谷、久美浜町出角)

市が設置しますので、地元負担金は必要ありません。(平成16年度予算:2,250万円)

設置予定場所  
久美浜町出角  
(いずすみ)



国からの補助金 785万円  
市の負担額 1,765万円  
(うち市債(市の借金) 1,490万円) ※過疎債 610万円

#### 市内の除雪力向上に努めます

■自治会への除雪機械の貸与【土木費】(新規) 1,464万円  
(担当:建設部 管理課)

除雪レベルの向上をめざして、従来除雪を行っていなかった狭小な市道の除雪や、歩道除雪路線の拡大に向けて、自治会へ小型の除雪機を貸し出します。そのモデル事業として、乗用・歩行の両タイプの貸し出しを市内の数地区で試行します。

### 3 特色ある地域づくり、地域の活性化

#### 地域づくり、まちづくりを推進します

■地域振興交付金【総務費】(継続) 1億2,233万円  
(担当:企画政策部 企画推進課)

住みよい地域社会の実現に向けて、区長協議会などへ交付金を交付し、自治会活動の活性化を図ります。

●平成17年度の交付予定額

峰山町峰山区区長会・峰山町峰山区長協議会 2,606万円  
大宮町自治会連絡協議会 2,051万円  
網野町区長連絡協議会 2,890万円  
丹後町区長連絡協議会 1,461万円  
弥栄町区長協議会 1,149万円  
久美浜区長連絡協議会 2,076万円  
交付金の額は、区長協議会を構成する区の均等割額(20,000円)と世帯割額(1世帯当たり5,400円×世帯数)の合計額です。

区長協議会に交付された交付金は、さらに区長協議会を構成する区に配分され、広報紙の配布経費や地域環境の整備費、集会所の維持管理費など、住みよい地域づくりのための経費に使われています。

■地域振興協議会の運営【総務費】(継続) 425万円  
(担当:企画政策部 企画推進課)

地域振興協議会は、合併により市民のみなさんご意見が、行政に届きにくくならないようにと、合併協議で旧6町ごとに設置することが決められました。

各地域振興協議会は、18人の委員さん(男性9人、女性9人)で構成され、地域の活性化や振興策、教育などについて話し合い、まとめられた意見を市長に提言していただきます。

#### ●主な経費

協議会委員さんや研修会などの講師への謝礼金 419万円  
協議会を運営するための事務用品など 6万円